ボランティアの種類、活動内容、資格など

種　類	活動内容 等	資格・備考
ホームステイ・ホームビジット 	**◆ ホームステイ** 外国人を一泊以上家庭に受け入れ、日本の家庭生活を紹介することにより、日本を理解し、交流を深める機会を提供する。 **◆ ホームビジット** 外国人を家庭に招待し、家庭生活に直接触れる機会を提供する。 ※一人暮らしの方は登録できません。	● 家族全員の理解を得たうえで受け入れることができる家庭。 ● 文化・言語・習慣の違いなどを理解し、特定の国に偏らずに積極的に外国人を受け入れることができる家庭。 ● 積極的にコミュニケーションを図り、柔軟な対応ができる家庭。
通　訳 	外国人の来館・電話による各種問合せの際の通訳のほか、財団主催（共催）事業及び財団が紹介する事業において、通訳など、語学面での協力をする。	● 活動を円滑に行える語学力があること。（英語の場合はTOEIC730点、英検準1級以上を目安とする） ● 面談時に語学スキルチェックを受け、一定レベルの能力が認められる人。
翻　訳	各種文書・記事・印刷物などの翻訳活動をする。 	活動を円滑に行える語学力があること。 当該言語でデータ送受信、パソコン入力、操作ができることが望ましい。
災害時外国人支援 	災害時に外国語での通訳・翻訳活動や、外国語・やさしい日本語を使って避難所で外国人被災者への情報提供及び支援を行う。	面談前に説明動画の視聴をお願いします。 詳しくはホームページをご覧ください。
技術・技能 	外国人への日本語指導や、国際会議の場などにおける日本文化（着付け、茶道・華道・書道など）及び外国文化の専門的技術・技能等の提供を通じて、国際親善を図る。	
a.日本語指導	**◆ 仕事のための実践日本語** メイン講師をサポートし、年3期の全期間を通して教室運営を補助する。	● 日本語教育有資格者 ・日本語教育能力検定試験合格者 ・日本語教授法420時間の課程修了者 ・大学で日本語教育を主専攻及び副専攻修了者 ● 日本企業等に10年以上就労経験がある人
	◆ オンライン日本語教室 メイン講師が行う教室の中で、ブレイクアウトルーム内での会話練習等のサポートを行う。	● 財団主催の研修会修了者 ● 日本語教育有資格者 ※教室によって条件が異なります。
b.日本語・学習支援	**◆ ことばのひろば** 外国にルーツを持つこどもへの日本語および教科学習支援を行う。	● 財団が行う説明会への出席が条件。 ● 原則大学生以上。 ● 外国にルーツを持つ子どもに寄り添い、適正な支援ができる人。
c.文化紹介	外国人への日本文化（茶道・華道・書道など）紹介。 日本人への外国文化（民族舞踊等）紹介や、小学校などで自国の文化を紹介。	それぞれの分野の技術を提供できる程度の技能を持つ人。
一般業務 	主に財団の主催（共催）事業について、会場設営・受付・資料の作成・発送業務などをスタッフと協力し、実施する。	特に語学の資格を必要としない。
企画運営 	ボランティアのアイデアを活かしながら、国際交流、国際協力、多文化共生に関する事業や、自主サークル活動などの企画・運営を行う。	国際交流・協力、多文化共生の活動に関心があり、プログラムを提案できる人。

活動実績については、ホームページ https://www.ih-osaka.or.jp/ をご覧ください。

2026.7